

2022年度の最終月となりました。神様のお守りの中、無事に歩いて来られましたこと心より感謝申し上げます。毎月の園だよりも お読み頂きまして、ありがとうございました。“保育園での子ども達の姿を 出来る限り伝えていこう”と 拙い文章や表現ではありますが皆で話し合い 検討し合いながら始めた通信も、この様式にして 20年以上になりますが、読後の皆様からのご感想やご意見等は、いつも大きな励みや力、また戒めとなっております。これからも、一人の人として 子ども達と 真摯に向き合い 真剣に生き合う 日々の園生活をそれぞれの想いや願い、祈りを込め“言葉で伝えること”を大切に、発信し続けて参ります。

さて コロナウィルスへの対応が変わりつつある中、来週から マスク着用が緩和されます。それぞれの判断に委ねられますが、保育園としましてはインフルエンザ等の流行にも考慮し 集団生活であることを踏まえ、状況によって臨機応変に取り組んでいこうと考えております。園舎内の換気・施設設備の衛生管理・子どもや職員の消毒等については気を緩めることなく今一度 見直しを強化して参ります。送迎における対応方法は、当面 これまでと同様ですが子ども達の日常の様子を 皆様に直接 感じて頂くために、皆様からの提案等も取り入れつつ工夫していきたいと思っておりますので、今後とも ご協力の程 よろしくお願い致します。

この1年を振り返り、今年度もまた 保護者の皆様を始め 本園に関わる多くの方々からの 温かなお力添えと厚いお祈りに支えられた“感謝”の一言に尽きる歩みでありましたことをしみじみと実感しております。神様から与えられた 出会いに“心から ありがとう”です。

年度末の今 私共が心から痛感させられておりますのは、つのびえ保育園の日々の生活は 保護者の方々お一人お一人の ご理解が 大きな支えであり 絶対に不可欠だということです。それを基に、子どもを真ん中にして 各ご家庭と保育園とが 互いの想いを表し、分かち合い、温かな信頼関係が生まれることで、二人三脚という歩みが出来ると 確信しております。ご存知のように つのびえの保育は 他園とはだいぶ異なります。最初は戸惑いや不思議さを抱かれる方もいらっしゃるかもしれませんが、ですから 園としての保育理念や 保育の方向性、また 各職員の人となりを知って、具体的な理解や 安心感を深めて頂きたいという願いから年に数回の特定の保護者会の開催や 園だよりに加えクラスだよりの発行を行っております。

結果よりも経緯が最も大切であるということ、1日1日が真剣勝負であること、子ども達が主体的・自発的につくり上げる生活の楽しさを感じていること、子ども達一人一人の想いを尊重し それぞれの心に寄り添い、自由の喜びと厳しさを体感し 社会性を築いていけるよう常に心掛け 日々の保育に努めております。子ども達が 一人の人として、人格と心を大切にそれぞれの年齢によって その子の歩幅で成長している その姿を 保護者の皆様方と一緒に喜び合い 感動し合い 時には悩み合って 分かち合える保育園で在りたいと願っております。

これからも つのびえらしさを失うことなく、保護者の皆様との 変わらない心の絆を大切に 信頼と理解を礎に、皆が温かな笑顔で歩めますよう 子ども達を真ん中に 尽力して参ります。1年 温かくお支え頂いた皆様に、心からの感謝を込め 神様の平安と祝福をお祈り致します。改めまして ありがとうございました。 (石田 記)

「自分にしてもらいたいと望むとおり、人にも そのようにしなさい。(ルカ 6:31)」